

行事名 竹炭焼き

日時 12月13日晴れ 8:30~15:00

場所 東吾妻町新巻地所

内容 真竹による土壌改良材製作

参加人員 FG21会員9名

コメント 昨日は今冬最高の寒波が日本列島を襲っている。憩の森で炭焼の作業準備をしていると指先が痛いほどであった。今日の炭焼のため消防署・警察署・役場等に届を提出していた。そして炭焼の今日を迎えた。今日は神様に感謝したくなるほど天候もよく、風もなく炭焼きには絶好に日和だ。炭窯である炭之助を組み立て、炭作りの水、消火用の水もすぐ近くの水路からタンクに確保した。1年乾かした真竹を運び込み準備が整った。

10:30 点火する。真竹は勢いよく燃え始める。真竹を長いまま投下するが窯からはみ出す、窯に戻そうとしても熱さのためだめなことがわかり2m程度に切添える。枝葉も火の粉として舞い上がる為、投入を中止する。

12:00 3Tトラックに2杯程度の竹を燃焼する。炭が窯一杯にできたようなので水をかける。当初は火勢も強く白い煙が舞い上がる。水をかけ続けると黒黒した竹炭が出来上がる。この炭は竹以外のものを入れない正真竹炭だ。

12:40 火勢も収まりほぼ鎮火する。鎮火したこと見守る為30分程度放置する。

13:20 5Kg程度(各人の総意)の炭を袋詰めする。袋は33袋とれる。

14:30 自治会長、土地の地権者に炭を後日の成果を試すため引き渡す。

最初の試みとしてまずまずの成果か。来年3月or4月には本格的に炭焼きを実施したい。

できた炭は周りの農家に引き渡し、成果を聞きたい。来年もこの竹の伐採事業がありそうなので竹の伐採方法・竹炭の効果等々“厄介者の竹はバイオマスの優等生”“藪化した竹林の循環型成果を実証報告できればと思う。



炭之助組み立て完了



点火の瞬間



水路から水の確保



出来上がった竹炭(土壌改良材)